

# かしまデジタル**変革**（DX）戦略

---

R5年度～R12年度  
（概要版）

令和5年7月策定  
令和8年5月更新



鹿島市

# 目次

1. はじめに

2. 戦略策定の趣旨

3. ミッション（基本理念）・ビジョン（将来めざす姿）・バリュー（行動指針）

4. 鹿島市がめざす職員のDXリテラシーのあり方

5. 推進体制と施策の実施

6. 戦略策定の経過

# 1. はじめに（なぜDXが必要なのか）

## 人口減少・職員数減少



- 人口（2020年⇒2040年）
  - └ 総人口：約 **80%** まで減少
  - └ 生産年齢人口：約 **75%** まで減少
- 職員数（2002年⇒2022年）
  - └ 約 **77%** まで減少（293人⇒228人）
  - └ 全国の同じ人口規模・産業構造の類似団体の中で、約 **33%** 少ない状況（126団体中6番目）

## 業務の増加・複雑化



- 職員数は減少しているのに…
  - └ 社会構造の変化に伴う新たな対応
  - └ 大規模な自然災害への対応
  - └ 新型コロナ、国・県からの権限移譲
  - └ 介護・空家問題 など
- 自治体の担う役割の増大に伴い、職員の業務は増加・複雑化

## 多様化する住民ニーズ

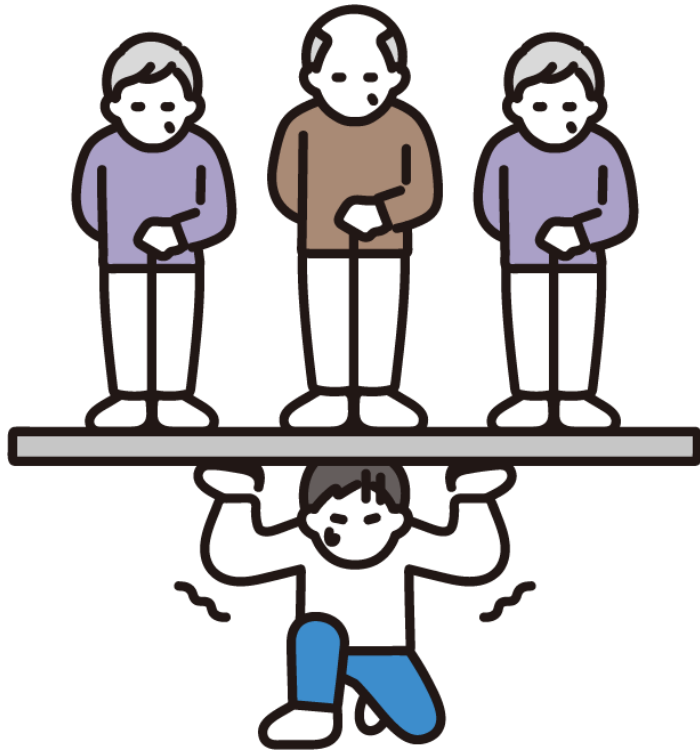


- 多様な住民ニーズへのきめ細やかな対応、質の高い仕事が職員には求められている
- 一方で、スマートフォンの普及や生成AIの出現など、**デジタル技術は急激に進歩・一般化**

# 1. はじめに (なぜDXが必要なのか)

---

このままでは…



- 職員は日々の業務に追われ、社会の変化に伴う新たな対応や突発的な災害への対応などができなくなるのでは…
- 住民サービスの向上以前に維持すらできなくなるのでは…

# 1. はじめに（なぜDXが必要なのか）

このような状況を踏まえて、



- 人減らしではなく、住民サービスの維持のために、  
災害やコロナ禍にも耐えうる業務体制の確立が急務！
- 限られた資源（ヒト・カネ・モノ・時間）で  
最大限の効果を引き出すことがDXの最大の目的！
- 小さな自治体だからこそ、お金がないからこそ、  
全庁をあげて早急にDXに取り組むべき！

## 2. 戦略策定の趣旨（目的とDXの定義）

- 本戦略の目的は、**本市のDXの必要性や方向性を市民と職員が共有すること**、そして、「『市民目線』の行政サービスや業務のデジタル活用による、つながる笑顔のまち 鹿島」という**基本理念（ミッション）と将来めざす姿（ビジョン）を全職員が共有したうえで、それらの実現を目指すこと**です。
- DXの取組は、単なるデジタル技術の導入ではなく、それに合わせた制度や施策、組織のあり方そのものの変革、そして「**職員一人ひとりの意識の改革**」です。したがって、**重要なのは「変革（X：トランスフォーメーション）」の部分であり、「D:デジタル」はあくまでも一つの手段**です。
- 本戦略は、鹿島のDXについての方向性を示し、「基本理念（ミッション）」「めざす姿（ビジョン）」「職員の行動指針（バリュー）」「具体的な取組（アクションプラン）」等を明確にするものとして策定しました。
- 本市では、DXを以下のとおり定義します。

**D X**（デジタル・トランスフォーメーション）＝ **デジタル変革**

- 単なるデジタル化ではなく、デジタル技術の活用により、業務や組織のあり方そのものを見直し、市民サービスをより良い方向に「**変革**」すること
- 行政におけるDXは、「市民目線でデジタル技術を活用し、**市民の利便性を向上させるとともに、行政の業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げる**こと」

# 3. ミッション・ビジョン・バリュー（何のためにDXをするのか）

## 基本理念 (ミッション)

### 『市民目線』の行政サービスや業務のデジタル活用による、つながる笑顔のまち 鹿島

市民の目線に立ち、一人ひとりに寄り添い、行政サービスや業務においてデジタル技術を効果的に活用することで、総合計画で掲げる「つながる笑顔のまち 鹿島」を実現することがDX戦略の使命であり、本市がDXを推進する理由です。

## 将来めざす姿 (ビジョン)

#### 市民の利便性向上

- ①市民は、最適な（いつでも・どこでも・どんな方法でも）手続きの仕方を選ぶことができます
- ②市民は、手続きの手間を最小限に抑えることができます（書かない・待たない・回らない）
- ③市民は、市役所から必要な情報を適時に受け取ることができます
- ④市民は、施設やサービスをより利用しやすくなります

#### 業務の効率化

- ①職員は、業務の自動化等により、政策立案や市民サービスの提供など、人しかできない業務に専念できます
- ②職員は、互いにサポートしあって、ムダなくスムーズに仕事ができます
- ③職員は、紙の書類を探さなくとも、すぐに必要な情報を取り出すことができます
- ④職員は、最適な場所・環境で仕事ができます

#### 人財育成

- ①職員は、デジタル分野について基本的なことを共有できています
- ②職員は、根拠をきちんと理解した上で、基本的なシステム操作ができます
- ③職員は、現状をきちんと分析し、最適なシステムを導入・利用できます
- ④職員は、主体的に新しい知識・技術の習得に努め、デジタル技術を積極的に取り入れることができます

本戦略を推進するうえでの、将来の鹿島市のあり方であり、市民や職員が日常的に感じる「課題・疑問」が解決された後の鹿島市の目指すべき姿です。

## 職員の行動指針 (バリュー)

- ① DXは**利用者目線**で進めます
- ② DXは**デジタルを手段に業務改革前提**で進めます
- ③ DXは**庁内組織の縦割りを排し垣根を取って**進めます
- ④ DXは**全体最適化を念頭にトータルコストを意識**して進めます
- ⑤ DXは**チャレンジ精神を持って行動・挑戦**して進めます

本戦略を推進するうえでの、本市職員として行動する際の5つの心構えです。これをDX推進の原点とし、常に心に留めておき、また折りに触れて原点に帰ることでDXの意義を組織に根付かせます。

## 戦略・戦術 (アクションプラン)

#### 各課の具体的な取組

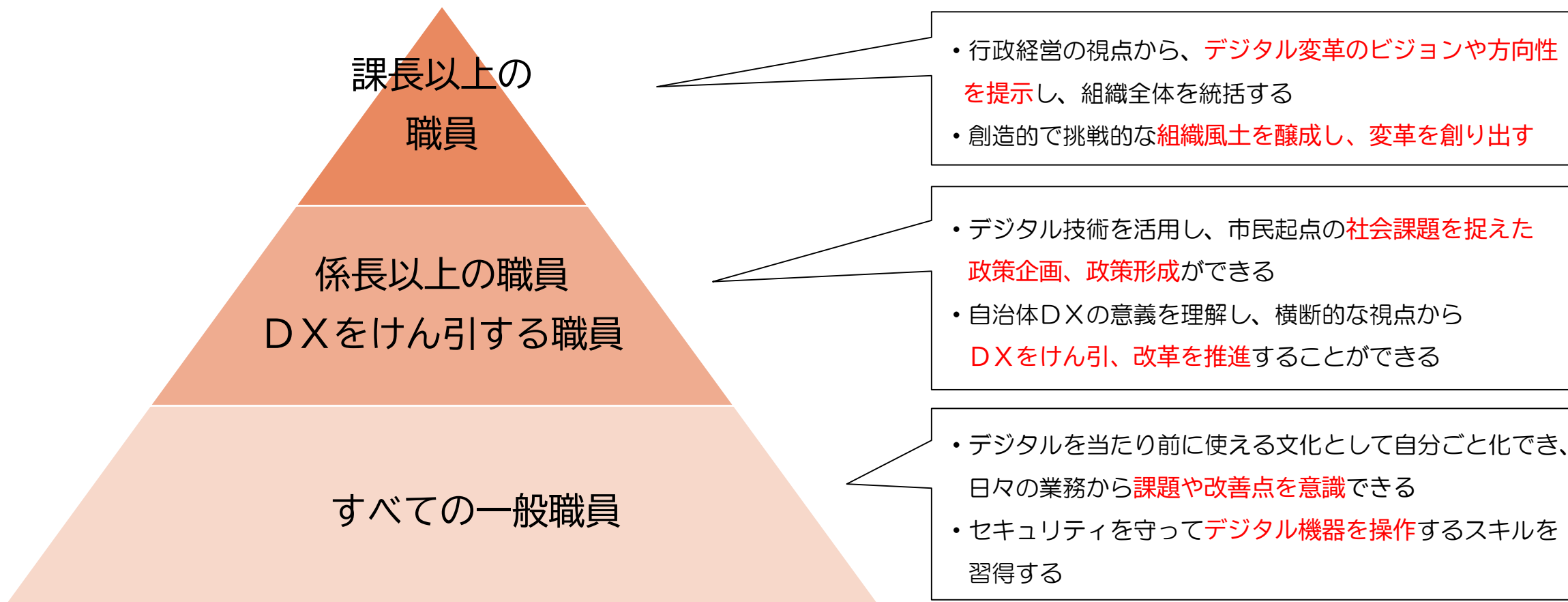
(かしまデジタル変革戦略アクションプラン)

ミッション・ビジョンを実現するために実行する個別の具体的な取組であり、ダメなら方向転換ができるように適宜検証・見直しを行います。

## 4. 鹿島市がめざす職員のDXリテラシーのあり方

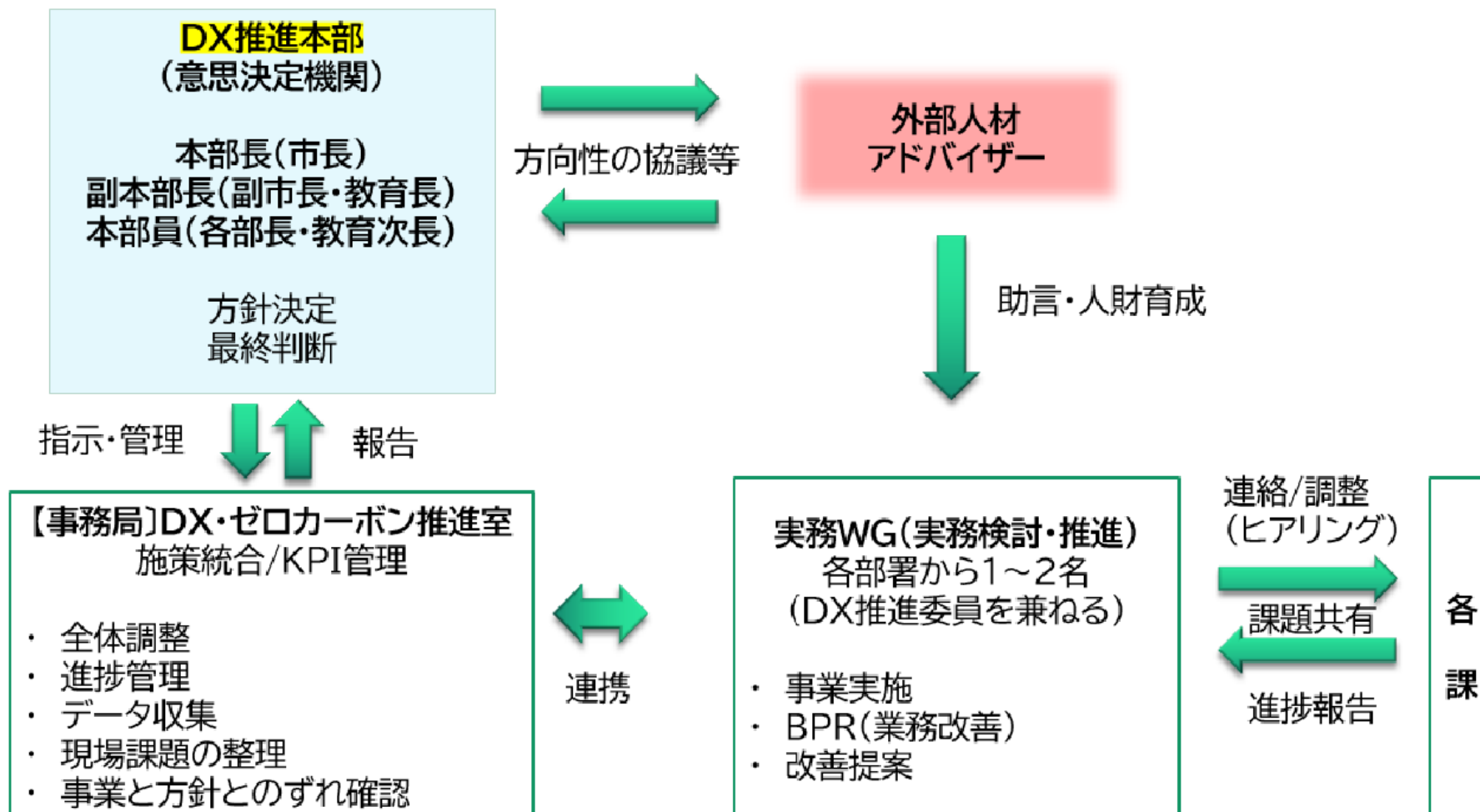
人財育成については、「将来めざす姿（ビジョン）」の設定に加え、各職員がそれぞれデジタル変革を推進していくためにどんな知識やスキル等を身につけていくのかを示す『鹿島市がめざす職員のDXリテラシーのあり方』を定めます。

### 【求められるDXリテラシーと対象職員のイメージ図】



## 5. 推進体制と施策の実施

- 本市のDX戦略は、以下の体制で進めていきます。また、基本方針に基づき具体的に取り組む内容については、「アクションプラン」として別に定めます。
- 進捗管理については、事務局がアクションプランの各取組担当課から進捗状況を取りまとめて精査し、DX推進本部会議へ報告して今後の方針を諮ります。



## 6. 戦略策定の経過

年月	内容	進捗状況
R4.10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 本部会議</li> <li>職員研修（全職員対象）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進体制及び今後の進め方の確認</li> <li>市長及び総務省アドバイザーによる研修で機運醸成 また、全職員のアンケートにより現状の分析</li> </ul>
R4.12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 WG検討会</li> <li>RPA・AI-OCR説明会及びデモの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜデジタル変革が必要なのか」を検討</li> <li>WGチャットツールによる意見交換開始</li> <li>業務効率化を考える機会として説明会及びデモ実施</li> </ul>
R5.1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民意見募集（1/10～2/28）</li> <li>第2回 WG検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民意見募集（Googleフォーム・メール・FAX）</li> <li>「課題」の洗い出し及び検討</li> <li>鹿島DX研究会との意見交換（市民・地域からの課題）</li> </ul>
R5.2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回 本部会議</li> <li>第3回 WG検討会</li> <li>第4回 WG検討会</li> <li>各課への照会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略の基本方針や構成などを諮る</li> <li>課題や意見を踏まえて「達成すべき状態」の検討</li> <li>達成したいビジョン（案）の共有</li> <li>個別に実施・検討しているデジタル化関係の取組を照会</li> </ul>
R5.3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回 WG検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションプラン（案）の検討</li> </ul>
R5.5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁議</li> <li>全員協議会</li> <li>各課へのアクションプラン照会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略（案）を諮る</li> <li>議会への説明</li> <li>各課の取組を照会</li> </ul>
R5.6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメント（6/1～7/3）</li> <li>庁内意見募集（6/15～6/29）</li> <li>第6回 WG検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び職員へ共有・意見募集</li> <li>戦略（案）修正作業</li> <li>アクションプラン（案）の合意</li> </ul>
R5.7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回 本部会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略及びアクションプランの承認、公表</li> </ul>